



まきば通信

第27号

日本基督教団

愛知老人コミュニティーセンター

〒470-0111 日進市米野木町南山987-88

TEL.0561-74-5548

FAX.0561-74-5561

ホームページ <http://www.mb.ccnw.ne.jp/makiba>E-mail makiba@mb.ccnw.ne.jp

発行日 2015年9月30日

発行人 鈴木 卓也

「まきば」を訪れるたびに…

日本キリスト教団中部教区総会議長
愛知老人コミュニティーセンター委員長
半田教会牧師

横山 良樹



はやいもので1997年に愛知老人コミュニティーセンターシルバーホーム「まきば」が開設されて18年になります。開設当時のあれこれを思い起こすと、よくここまでやってこられたなあ、と神さまと関係者各位に頭の下がる思いです。2010年に全国誌での老人ホーム特集で全国3位、愛知県連続3年1位という結果でしたと鈴木卓也施設長から伺った時には、本当なのかと、掲載紙を穴があくほど眺めたものです。

わたしや、半田教会の信徒にとっては「まきば」は忠実な信徒として教会に仕えられた山下比奈子さんや、前任牧師の篠田潔・秀子夫妻が入居された場所であり、半田から車で1時間半ほどの距離ですが、こころの距離はもっと近いものでした。折にふれて訪問する際に気づかされ、「まきば」は他の施設と違うのだな、と最初に思ったのは氏名で入居者をきちんと呼ぶことでした。入居者の人格の尊厳を守るという立場から、おじいちゃん、おばあちゃんといった呼びかけをしないように指導していたのです。施設や病院は、ともすれば、「入居者」・「患者」といった名前を剥奪した存在として人を管理してしまうことがあります。相応の理由もあることでしょうが、名前はわたしたちが生まれた時に与えられ、そして最後まで持つことのできる唯一のものと言ってよいでしょう。人生を生き抜いてこられた方々に対する敬意をもってその名を呼ぶ姿勢は好ましいものでした。

今では、教団議長も入りたいと聞く「まきば」ですが、入居に際して一番大変なのは身辺整理でしょう。篠田先生の「まきば」入居には、教会員がお手伝いをしましたが、牧師館からマンションに移られた時にす

でにある程度整理を行っていましたが、終の棲家である「まきば」に移るには徹底的な処分が必要でした。わたしはたくさんの本を譲り受けました。また先生が保管しておられたものがバザーに出たり、人手に渡るのを見て、あらためてわたしたちはそうしたものを一時的に管理しているに過ぎないと思わされました。

戦前のアメリカ映画に「我が家の楽園」という映画があります。You can't take it with you.というのが原題で、あなたはそれを天国へは持っていきませんよ、と大金持ちを柔らかく諷刺するような映画でした。古代の教父アンブロジウスもこう言っています。「死ぬときにわれわれが持ち去ることのできるようなものは、われわれの所有物とは言えぬ。…われわれの後についてくるのは憐みの心のみ」。「まきば」を訪れるたびにそんな思いが浮かぶようになりました昨今です。



▲十字架とひまわり

教会が抱える介護の現実

～今、信徒が危ない!～

予防医学と医療環境の進歩に伴い、長寿高齢化が進んでいます。それぞれの教会においても信徒の介護問題は、直面する重い課題になっています。今号では、教会が直面する高齢化の現実について、自宅で介護保険を利用しながら生活しているお2人の信徒に聞いてみました。

**A姉。81才、身体障害3級、要介護2…の夫の介護の場合。
信仰歴60年、結婚して53年になる。
介護地獄を生き抜いた壮絶な日々**

ノンクリスチャンの夫が10年近く前から要支援認定を受けてディサービスを利用し始めました。2年ほど前にかみの中で転んで、救急車で病院に運ばれました。傷はすぐに治ったのですが、急に身体機能が落ちて要介護2になってしまいました。私も膝が痛いので十分な介護をすることが難しく、取り敢えずショートステイに頼んで一カ月くらい過ごしてもらったあと、ケアマネージャーに勧められて有料老人ホームを探さることになりました。

10数件の情報をもらって探し回り、その内8件のホームを見学しました。それぞれのホームに一長一短がありましたが、私がいつでも面会に行ける距離のホームが良いと思い、近くにあった株式会社で運営する某有料老人ホームに入居させました。夫は嫌がりましたが、他に方法がありませんでした。

ディサービス、ショートステイ、有料老人ホームがそれぞれ別の経営だったので、毎回探しまわるのに苦労しました。ところが、入居して1年くらいたった頃、ベツトから転落する事故があり、急に動けなくなって要介護5の認定を受けるほどになってしまいました。入居していた有料老人ホームから「一部の介護を家族で負担してほしい」と言われましたが、私は膝が悪く対応できないので困ってしまいました。介護ができないから入れたのに、「対応できなければ引き受けられない」と言われたのです。行く所が無くなってしまっ、本当に困り果てました。

その時は、必死に祈り求めました。途方に暮れて、何件もの特別養護老人ホームに申込んだら、たまたま空室ができたホームがあって、すぐに転居しました。4人部屋なので気を遣いながらの生活で、夫は抵抗しましたが、ずっといられるということなので…そこに入れる他に方法がありませんでした。

追い詰められたような気持ちになった時もありましたし、もう駄目だと思ったこともありました。必死でした。入居する所があって本当にホッとしました。今は特養も介護度の重い人しか受け入れないので、職員も大変そうです。



▲介護の苦労話を聞く真木芳子編集委員(右)と鈴木施設長。一日に一回は食事介助に通って、ヘルパーさんの負担を軽くするように心がけています。

介護する私にとって、精神的に厳しい状態だったので、教会の信仰の友が頼りでした。祈る以外に方法が見当たりませんでした。信仰だけが支えでした。結果だけ見ればうまくいったように聞こえるかもしれませんが、その間は心配ばかりでした。娘は離れて暮らしていますし、仕事も持っています。本当に老々介護の日々でした。

自分のこれからのことは、まだ考えられる状態ではありません。それどころではありませんでした。でも、考えてみれば私も今は独居老人です。すでに要介護認定も受けています。毎週一回ヘルパーさんに来てもらって、洗濯だけお願いしています。

今の願いは、主人に病床洗礼を受けてほしいということです。ワンマンで家庭を顧みず、借金ばかり繰り返していた夫と何回別れようと思ったかわかりません。今、こんなに介護が重くなっているのにワガママを通しては夫ですが、一緒にイエス様の所に行きたいと願っています。葬儀を教会ですることは主人も了解していますし、愛知牧場の中にある復活苑の納骨堂にボックスも買っています。教会が嫌いな訳ではないと思うのですが、「自分には資格がない」なんて訳のわからないことを言っています。

『介護地獄』と言う言葉を嫌と言うほど体験しました。「この世と妥協してはいけない」…その一念でここまで来ることができました。だから、どんなに疲れても、必ず礼拝には出席しようと思いました。それにしても、夫の介護と施設探しは大変でした。

さて、この次は私の番でしょうネ。さア、どうなることか? 早く考え始めなければ大変なことになりますネ。

B兄。77才、要支援1…の場合。
信仰歴57年。

自分でできるうちに準備を進めたい

1998年、今から17年前にパーキンソン病を発症しました。2012年、行政が主催した介護講習会に出席した時、病院の企画で筋トレを中心にしたりハビリの3ヶ月無料体験を始めました。期限の3ヶ月が経ちましたが続けたいと思って介護認定を受けました。要支援2と認定され、週2回のリハビリを続けることができました。

2014年には要介護1になりましたが、リハビリの甲斐あって要支援1に回復しました。ところが、要支援1になったために、週2回受けることができたリハビリが週1回しかできなくなってしまいました。記録をつけて毎月ケアマネージャーに報告しています。

現在妻と2人暮らしで、毎朝畑仕事に始まって、掃除洗濯は妻と手分けしてやっています。危ないので車の運転はやめて、自転車で30分かけて教会へ通っています。

子供は娘と息子がいますが、どちらも隣の県で家庭を持っています。それぞれに生活がありますので、同居の予定はありません。パーキンソン病の治療は2ヶ月に一度病院へ行って、11種類の薬（高血圧症の薬を含む）をもらって飲んでいます。妻は、毎日元気に飛び回っていますが、その内老々介護が待っているのでしょうか。

私は20歳の時、兵庫県の教会で受洗しましたが、私も妻も関西の出身でこの地方に住むようになったのは職場の関係です。だから、ここで生まれこの土地で育った住民ではありません。妻は結婚してから信仰を持ちました。今も教会活動は積極的に続けています。

介護が必要になったら、家族に面倒を見てもらいたい



▲介護の不安について聞く小田部編集委員

と思っていますが、どこまで頼れるかわからないし、頼れたとしても限界があると思うので、その時は施設入居を考えなければいけないと思っています。将来について時々夫婦で話し合うことはありますが、お互いの主張を話し合うだけで終わってしまって、なかなか結論までには至っていません。これからも、自分でできることは自分でやっていきたいし、介護保険もなるべく使わないでやっていければ、それに越したことは無いと思っています。

「まきば」があることは知っていますが、夫婦で入るには経済的に難しいと思っています。でも、自分の条件に合う施設を紹介してもらいたいとは思っています。今後、どうなっていくかわからないので、教会が相談に乗ってくれたり、「まきば」の専門職の人が相談に乗ってくれば心強いので助かります。

何ともならなくて困る前に、一つひとつ手を打って行きたい。教会の仲間と、近くの有料老人ホームを見学に行ったこともあります。でも、ちょっと希望に合いませんでした。介護が重くなっても、信仰生活は続けたいし、教会とつながってほしい、最後まで祈り続ける人生をまっとうしたいと思っています。

出張講演のご案内

シルバーホーム「まきば」では、施設長や職員が出向いて、わかりやすい介護のお話をしています。

日進市内の“コミュニティーサロン”や“おたっしゃハウス”など、お年寄りの集いには、年間5～10回の訪問講演を続けています。

教会での伝道集会や研修会にも出張していますので、ご要望があればお知らせください。

また、愛知牧場への遠足や「まきば」の施設見学とセットにした修養会などのご来訪も歓迎しています。



▲介護について講演する鈴木施設長(中濃教会にて)



愛知老人コミュニティーセンター委員会を紹介します

日本キリスト教団中部教区の日常の運営をする常置委員会のもとに各委員会があり、日々活発な活動を展開しています。その中に常設委員会として「愛知老人コミュニティーセンター委員会」があります。

中部教区常置委員会と、シルバーホーム「まきば」を運営する愛知老人コミュニティーセンター運営委員会(旧理事会)との窓口になって調整する役割を担っています。



【組織のイメージ】

()内は代表者 日本基督(キリスト)教団=常議員会
(石橋秀雄教団議長)

中部教区=常置委員会
(横山良樹教区議長)

愛知老人
コミュニティー
センター委員会
(横山良樹委員長)

愛知老人
コミュニティーセンター
運営委員会
(篠田潔運営委員長)

シルバーホームまきば
(鈴木卓也施設長)



メンバー(右から)

- 委員長 横山 良樹 牧師(半田教会)
- 委員 森松 民子 牧師(赤池教会)
- 委員 小田部 正一 牧師(中濃教会)



▲隣接する愛知牧場(日進市写真連盟提供)



施設長から経営状態の
説明を聞く3委員

複雑な組織に見えますが、日本基督教団という大きな組織の中で、有料老人ホームを運営していくには難しい専門性が必要になります。そこで、この「センター委員会」が重要な潤滑剤の働きを担っています。

今号では、正式名称を「宗教法人日本基督教団 中部教区 愛知老人コミュニティーセンター委員会」という長い名前の委員会を紹介します。



委員会の様子を紹介します

7月24日、新メンバーでの第一回センター委員会が、シルバーホーム「まきば」内にある「愛知老人コミュニティーセンター本部室」にて開催されました。

始めに鈴木施設長から、これまでの経緯、昨年度の決算報告、現在の資産状況、これからの課題などの説明を聞き、センター委員会が果たすべき当面の課題について議論しました。その後、築18年になる本館の傷み状況を視察、大規模修繕の必要性についてチェックしました。



▲玄関の修復状態を確認



▲手すりの錆をチェック



▲化粧タイルの亀裂を調べる小田部委員



▲避難階段の損傷を指摘する森松委員

また、最近取得した駐車場用地の現状を確認し、整備についての検討をしました。そして、長年の夢である「隠退牧師のためのホーム」建設の可能性について、愛知老人コミュニティーセンターと教区が、足並みをそろえて行くための方策などについて検討しました。

これまでにない、充実した委員会になりました。



◀シルバーホームまきば本館を望む
新駐車場用地を視察

今後の検討課題

- シルバーホーム「まきば」本館の大規模修繕工事の時期
- 新駐車場整備の必要性
- 隠退牧師のためのホーム建設時期・規模・必要性等の検討



まきばトピックス

このページは、日本キリスト教団愛知老人コミュニティーセンターが運営する有料老人ホーム、シルバーホーム「まきば」でおこなわれた行事や出来事を紹介するコーナーです。



川原啓美先生が逝去されました

「まきば」の提携医療機関である愛知国際病院とアジア保健研修所の創設者、川原啓美医師が5月22日、86年に及ぶ地上での生活を終え、天に召されました。先生の働きは、小学校6年生の社会科教科書（東京書籍版）で全国に紹介されています。葬儀は南山教会を会場におこなわれました。多くの人々のために働き、多くの人に愛され、多くの足跡を残して天に凱旋された先生を偲んで、前夜式・葬儀とも500人前後の会葬者が集い、最後の別れを惜しみました。

中日新聞で紹介されました

7月19日の中日新聞朝刊に、『新聞読んで脳を元気に』という見出しで、シルバーホーム「まきば」のアクティビティープログラムが紹介されました。

新聞の記事を音読して社会の動きを知り、相互の意見を理解することを目的にした「言語リハビリ」「脳の活性化リハビリ」のためのプログラムです。

声を出して読むこと、社会の動きに敏感であること、他の人の意見を聞くことなど、日常生活を送る中で心身の健康を維持する機能訓練法の一環として続けています。



▲新聞記事

教団のセンターが見学に来てくださいました

学生キリスト教友愛会

昨年11月19日、東京都にある教団のセンター「学生キリスト教友愛会」の大宮溥理事長と野田沢主事がお越しく下さいました。教団が進めるセンター明確化に対応するため、一足先に教団のセンターとして確定した愛知老人コミュニティーセンターの考え方と手続きを参考にするためでした。また、「まきば」には、大宮先生と神学校時代の同級生2人が入居しておられますので、1泊して旧交を温めていただきました。

にじのいえ信愛荘

7月1日～2日、「にじのいえ信愛荘」の深山祐荘長がお越しく下さいました。高円寺南教会の牧会もしておられる深山先生は、朝の職員礼拝から参加され、熱心に見学して行かれました。また、これからの両施設の連携や、隠退牧師が入居しやすい施設の実現など、共通の課題について話し合う良い機会になりました。



日本キリスト教社会福祉学会の皆様が見学に来てくださいました

6月27日、日本キリスト教社会福祉学会が名古屋で開催され、出席者の内約30人の皆様が「まきば」を見学に立ち寄って下さいました。他に、近隣施設のホスピスや特別養護老人ホーム、アジア保健研修所なども見学した後、知多半島にある和訳聖書発祥の記念碑に向かいました。



職場体験学習を受入れています

名古屋学院名古屋中学校

8月20日、名古屋学院の中学2年生が2人、職場体験学習に訪れました。これからの目指すべき福祉のあり方や、介護業界の現状の問題点などを熱心に学習しました。その後、設備や介護の現場を見学し、また体験を通して有意義な一日を過ごして帰りました。



日進市立日進北中学校

8月24～25日の2日間、日進北中学校2年生の女子生徒が1人、キャリア教育プログラムの体験施設として「まきば」に研修に来てくれました。一緒に機能訓練の果たす役割を勉強したり、食事介助を体験して、福祉の心を学ぶ有意義な社会実習の時となりました。



同志社大学

9月2日、同志社大学社会学部社会福祉学科1回生の川崎豊実さんが、「社会福祉実習」のボランティア体験学習として来訪、介護の仕事を体験していただきました。専門分野の学生らしいテキパキとした働きと共に、これからの社会福祉のあり方について様々な質問や感想を聞かせてくれました。今後の学業の糧になればと祈っています。尚、川崎さんは名古屋西教会の教会員です。



新しいリハビリテーションプログラムを始めました

比較的介護度が高い方たちに向けて、「スマイル治療院」の協力で新しい機能訓練プログラムを始めました。マッサージ鍼灸師、メンタルケア心理士、機能訓練指導員、看護師、介護福祉士が協力して携わり、毎日1時間を目安に開催しています。専門的な理論に基づいた構成で、開始早々から好評を得ています。



■愛知老人コミュニティーセンターへの献金報告

献金者芳名 (2014年4月1日～2015年3月31日)

教会福祉献金	匿名 2名様	金額 2,000,000円
センター維持献金	加藤 久雄様、前島 尚子様、小崎 真様、芹野 恵美様 平野 恭子・高橋 ゆり子様、西村 加代子様、名古屋中村教会様 深谷 佐和子様、愛知東地区教師会様、下村 徹嗣様、真木 芳子様 三澤 克己様、名古屋学院一麦会様、広路教会様、飛騨高山教会様 岡崎教会様、岡崎教会泉の会様、御器所教会教会学校様 中部学院大学 宗教委員会様、東岡山 治様、南山教会様、他 匿名 8名様 「礼拝」での献金 7口、「聖書の集い」での献金 20口	金額 415,000円
		合計 2,415,000円

皆様のお支えに感謝します。

献金
振込先

① 三菱東京UFJ銀行 日進支店
(宗)日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター
理事長 篠田 潔
普通口座 1162658

② 郵便振込
日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター
振替番号 00870-4-29934

パートスタッフ募集

牧場の緑に囲まれた自然豊かな環境の中で、
人格を大切に守る介護を実践してみませんか？
信仰生活の支援も大切な仕事の一つです。



介
護
職
員

週2日～5日

【給与】 面談により決定

【資格】 介護福祉士、介護職員初任者研修修了
(ホームヘルパー)

【勤務】 7:00～18:30の間で勤務表による。
実働8時間

正職員への任用制度もあります。これから資格
取得を目指している方もご相談下さい。

夜
勤
看
護
師

週1日程度から(曜日応相談)

【給与】 面談により決定

【資格】 看護師、准看護師(年令不問)

【勤務】 18:00～翌8:00
仮眠4時間あり(実働10時間)

【待遇】 精勤手当支給(月間5日、7日、10日勤務)

●交通費全額支給 ※詳細はお電話下さい。(担当：小中)

入居予約受付中

見学や体験入居もできます(要予約)



日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター
silver home

まきば

シルバーホーム「まきば」と共に祈りの生活を……
広い牧場を臨み、近くに愛知池があり、
緑豊かな自然に包まれて暮らす…
真向かいに病院があり、牧場をはさんで教会もあります。

交通機関

名鉄豊田線(名古屋市営地下鉄鶴舞線より直通乗り入れ)黒笹駅から900m
東名高速道路・三好ICから3.4Km 日進市公共巡回バス・南山エピック南から200m

類型及び表示事項

施設の類型/介護付有料老人ホーム(一部住宅型) 居室の権利形態/利用権方式
介護保険/愛知県指定特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護
入居時の要件/60才以上で入居時自立及び要支援の方
居室区分/個室及び二人部屋 介護にかかわる職員体制/2:1以上

キリスト教プログラム

「礼拝」「聖餐式」「聖書の集い」「賛美の集い」などの
定例集会が毎週施設内であり、自由に参加できます。
主日礼拝出席者のために、日本基督教団南山教会から
バスが迎えに来ます。その他、南山教会の「聖書研究
祈禱会」、真向かいにある愛知国際病院の「聖書集会」
にも自由に出席することができます。



お問い合わせ先

(宗)日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター シルバーホーム「まきば」

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-88

TEL.0561-74-5548 FAX.0561-74-5561 <http://www.mb.ccnw.ne.jp/makiba>

編集後記

巻頭には、去る5月の中部教区総会で選出された横山良樹議長に執筆頂きました。
新体制のもと、教区センター委員会が「まきば」を会場に持たれました。設立当初の
困難な時代、理事会と教区をつなぐ役割を担ってくださり乗り越えることができた
ことを感謝と共に思い起こします。これからも祈りのうちにこの働きを覚えてくだ
さい。

高齢化が進む中、「介護」の問題は私たち教会にとっても避けて通れない大きな
課題となっています。お2人の信徒に体験を伺いました。語っていただいたことを通
して、ご一緒に考える機会となれば幸いです。

主の平安が皆さまと共にありますように。

(真木)

